平成30年度中国四国地域マッチングフォーラム

「業務用・加工用・輸出用米のビジネスモデル」

―スマート農業の実現に向けて－農業データ連携基盤（WAGRI）他―

１．開催日時

平成30年11月8日（木曜日）11時00分 ～ 17時25分　＜受付開始10時30分～＞

２．開催場所

サンポートホール高松（〒760-0019 高松市サンポート2-1　TEL：087-825-5000）

第2小ホール

３．主催・協賛・後援

主催：農林水産省 大臣官房技術政策室、農研機構 西日本農業研究センター

協賛：農林水産省 中国四国農政局

後援：香川県(予定)、NPO法人中国四国アグリテック

４．対象範囲

生産者(団体)、行政・普及機関関係者、関連企業、試験研究機関関係者など

５．内容

開会挨拶　11時00分-11時10分

農林水産省 大臣官房技術政策室

農研機構 西日本農業研究センター 所長　水町 功子

第1部　スマート農業の実現に向けて（説明と意見交換）　11時10分-12時30分

・ 農業データ連携基盤（WAGRI）について

・ スマート農業技術の現場への実装について

農林水産省 大臣官房技術政策室

（休憩12時30分-13時20分）

第2部　講演　13時20分-15時20分

・生産者を活かす業務用米の販売取組について

くりや株式会社　代表取締役　徳永 真悟

・農研機構育成の業務・加工用米品種について

農研機構 西日本農業研究センター　水稲育種グループ　主任研究員　重宗 明子

・輸出・GAPを利用する高品質なコメの販売戦略

株式会社穂海　代表取締役　丸田 洋

・ 西日本における業務・加工用水稲品種「やまだわら」の多収栽培技術

農研機構 西日本農業研究センター　栽培管理グループ　主任研究員　小林 英和

・ 「やまだわら」等の多収米品種の輸出におけるメリットと課題

JA熊本経済連 農産部　次長　馬場 元治

・今後の米政策について―コメ海外市場拡大戦略プロジェクトなど

農林水産省政策統括官付穀物課　課長補佐　　添田 孝志

（休憩　15 時 20 分-15 時 30 分）

第3部　ポスター発表～マッチング～　　15 時 30 分-16 時 20 分

関連技術、輸出の取組のポスターを展示・説明し、開発担当者と参加者との間でマッチング（技術相談を含む）を行います。1 題ごとにショートプレゼンテーションも行います。

第4部　パネルディスカッション　　16 時 20 分-17 時 20 分

「国内外で『売れる』コメの生産を目指して」

司会：農研機構 西日本農業研究センター 水田作研究領域　研究領域長　　中谷 敬子

パネリスト：講演者６名

閉会挨拶　　17 時 20 分-17 時 25 分

農林水産省 中国四国農政局 生産部

６．参加費：無料

７．定員：150 名（先着順、定員になり次第締め切ります。）

８．申込方法

参加を希望される方は、10 月 19 日（金曜日）までに、下記 WEB サイトからお申込みいただくか、参加申込書に所要事項を記入して、メールまたは FAX にてお申し込みください。

９．申込先・お問合わせ先

農研機構 西日本農業研究センター 企画部産学連携室　菅本 清春

申込用 WEB サイトアドレス：http://pursue.dc.affrc.go.jp/form/fm/naro132/2018mf2

メールアドレス：toybox@ml.affrc.go.jp

電話：084-923-5385　　ファックス：084-923-5215

別記
ポスター発表

１．夏の暑さに負けない香川県オリジナル水稲品種「おいでまい」の開発と生産技術
香川県農業試験場　主席研究員　三木 哲弘

２．香川県オリジナル水稲品種「おいでまい」におけるプロモーション活動
香川県農業生産流通課　主任　濱口 恵

３．業務用米「アケボノ」の生育診断による安定多収の実現にむけて
岡山県農林水産総合センター農業研究所 作物・経営研究室　研究員　渡邊 丈洋

４．「阿波十割」ブランドの確立に向けた酒米「吟のさと」の多収栽培
徳島県立農林水産総合技術支援センター 農産園芸研究家　専門研究員 吉原 均

５．スマート農業の実現に向けて―農業データ連携基盤（WAGRI）について／スマート農業技術の現場への実装について
農林水産省 大臣官房技術政策室

６．今後の米政策について―コメ海外市場拡大戦略プロジェクトなど
農林水産省 政策統括官付穀物課

７．生産者を活かす業務用米の販売取組について
くりや株式会社　徳永 真悟

８．農研機構育成の業務・加工用米品種について
農研機構 西日本農業研究センター 水稲育種グループ　上級研究員　重宗 明子

９．輸出・GAP を利用する高品質なコメの販売戦略
株式会社穂海　代表取締役　丸田 洋

10. 西日本における業務・加工用水稲品種「やまだわら」の多収栽培技術
農研機構 西日本農業研究センター 栽培管理グループ　上級研究員　小林 英和

11. 「やまだわら」等の多収米品種の輸出におけるメリットと課題
JA 熊本経済連 農産部　次長　馬場 元治